

ヴィラージュ中原運営推進会議議事録

◇開催日時 2025年7月22日(火)15:00～16:00

◇開催場所 ヴィラージュ中原 地域交流室

◇出席者 老人クラブ常和会:横田副会長、太田氏、大戸第2地区民児協:志村副会長
中原区地域みまもり支援センター:佐々木職員、阿部職員、藤本職員
地域包括支援センターこだなか:小川保健師
よろこび久末:吉田管理者、梅村 SC、田村 CM
事務局:福芝施設長、山口 SC、越智SC、大槻SC

議題

1. 看多機の運営状況と広報について
2. 7年度の事業の進捗
3. 地域連携の取り組み
4. その他

■議題 1: 看多機の運営状況と広報について

運営状況

- 利用者数が少しずつ増加している
- 現在の登録利用者数: 14名
- 8月から1名増加予定で、合計16名になる見込み
- 短期利用(ショートステイ)の利用も増加傾向
- 通いの定員(12名)の**日**が増えてきている

広報活動

- 「よろこび久末だより」を2ヶ月に1回発行
 - 行事の写真や活動内容を掲載
 - ご家族に配布
- 新しいチラシの作成
 - 看多機の4つのサービスを色分けして見やすく表示
 - 利用対象者(要介護1から5の認定を受けた方、川崎市内在住)を明記
 - 看多機利用のメリットを「4つの安心」としてまとめた
 - 1日の流れを時間帯ごとに分かりやすく記載
 - レクリエーションや医療ケアの写真を掲載

イベント報告

- セタイベント
 - 特養と共同で実施
 - 子供たちに笹や扇子を配布
 - 獅子舞の訪問があり、特養利用者一人一人の頭を噛んでもらった
- アジサイ見学（6月）
 - せせらぎの遊歩道へ外出レクリエーションとして実施
- 行事食の提供
 - 毎月、ヴィラージュ中原の栄養科で作成
 - 久末にも届けて、利用者皆で食べている

■ 議題 2: 7 年度の事業の進捗

生活支援コーディネーター業務

- 個別支援ケース対応
 - 包括からの相談で 80 代女性の支援を実施
 - 電気等インフラが止まっている状態で生活していた方を支援
 - 親族と連携し、7月に他県へ引っ越しが完了
- 地域との交流活動
 - 大戸地区でのふれあい体操に参加
 - CD とラジカセを購入し、貸し出しの形で協力
 - エンディングノート講座の開催（4月11日）
 - 社会福祉協議会あんしんセンターと連携
 - 8名程度の参加があった
 - みやうち包括のカフェ活動への参加
 - 毎週火曜・木曜日に開催されているカフェに参加予定
 - のんびりウォーキングへの参加予定（等々力公園）

久末の生活支援コーディネーター活動

- スマホ教室の 2 拠点展開
- 男性向け健康ボウリング企画
 - 8月25日に初回開催予定
 - 橘ボウルで実施
 - 10名以上の参加で送迎バスが出る予定

■ 議題 3: 地域連携の取り組み

新しい地域資源との連携

- 上小田中保育園との交流
 - 秋に園児と入居者の運動会を計画（玉入れ、ボール送り、体操など）
- 常陸町会母親クラブとの連携
 - 7月5日に笹配り、お下がり市、楽器演奏、ペットボトルライト、獅子舞などのイベントを実施 参加者 80 名

駄菓子屋の運営

- 7月21日に特別開催（2時間スペシャル）
 - 通常の輪投げに加え、金魚すくい、射的、バルーンアートを実施
 - 参加者数：合計 121 名（子供 71 人、大人 44 人、利用者 6 人）
- 近隣住民の利用も増加傾向

防災関連の取り組み

- 6月9日に常陸町会の原会長に自主防災について相談
- 11月頃に自主防災訓練を予定
- 施設として協力・参加の意向を表明

■議題 4： その他

こだなか包括支援センターからの情報共有

- 熱中症による搬送件数が増加傾向
 - 近隣住民への注意喚起を呼びかけ
- 8050 問題（80 代の親と 50 代の子供の同居問題）の相談増加
 - 役所の高齢障害者課や障害者相談センターと連携して対応

今後の課題と提案

- 地域の高齢者向け活動場所の不足
 - 施設を地域の拠点として活用する提案
 - カラオケ、手芸教室などの活動の場を提供
- 高齢者の技術や経験を活かした講師の発掘
- 介護予防や健康維持のための活動の充実

次回会議日程

日時：2025 年 9 月 22 日（月）15:00

会議のまとめ

- 看多機の運営状況は改善傾向にあり、利用者数が増加している
- 新しいチラシの作成により、サービス内容や利用メリットをより分かりやすく伝える工夫がなされた→日付を記載して修正などに対応し使用してみる。
- 生活支援コーディネーターの活動を通じて、個別支援や地域交流が進められている
- 久末では、男性高齢者向けの新しい企画（健康ボウリング）が開始予定
- 地域の保育園や母親クラブとの連携により、多世代交流が促進されている
- 駄菓子屋の運営を通じて、地域住民との交流が深まっている
- 防災訓練への参加など、地域の安全に貢献する取り組みが計画されている
- 8050問題など、新たな社会課題への対応が求められている
- 高齢者の活動場所や機会の創出が今後の課題として挙げられた